

ICT 実践報告

指導形態：生活単元学習（調理学習）②

授業のねらい

○自分でタブレット端末を確認しながら、見通しを持って簡単な手順の調理学習に取り組むことができる。

具体的な活用場面【使用アプリ：TASUCステップ】



成果と課題

○課題学習や造形学習でも使っているアプリを使用し、調理の手順を提示した。自分でタブレット端末を操作して確認しながら各工程に取り組むことができた。写真と合わせて音声でも確認できるため、自分から復唱する様子が見られた。

○写真カードなどの手順書は今までも取り組んできたが、アプリを操作すること自体が本児の動機付けにもなっている。普段は自信がないと教師の支援を待っていたりすることもあるが、いつもより意欲的で自分から調理の活動に取り組む様子が多く見られた。

○授業のねらいとしては自分で確認しながら見通しを持って取り組むことだったが、今回のように児童の動機付けになったり意欲的に取り組むためのツールになったことは、児童にとっても指導者にとっても大きな成果であった。今後も児童の動機付けにもつながるような活用の仕方できるとよいと考えている。

●タブレット端末で手順を確認していた児童の隣の席の児童も、タブレットが気になり、操作する様子が見られた。次回タブレットを使用して手順を提示してみようとする。
→前回隣の児童が操作していることに興味を示していたため、別の児童にも使用してみることにした。普段タブレット端末を授業で使用していなかった児童であるが、すぐに自分から操作し、音声を聞いて自分で復唱したり、自分から手順を確認したり、後片付けの場所に行って取り組もうとしたりする様子が見られた。

次回は、学習の最初から使用するなどの工夫が必要である。